

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2023 年 第 28 週（7 月 10 日～7 月 16 日）

＜全数把握対象疾患の患者情報＞

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	6 人 類型 患者 2 人、 無症状病原体保有者 4 人 血清型 O157 1 人、 O157・O26 同時検出 1 人、 O111 1 人、不明 3 人
四類感染症 E 型肝炎	1 人 推定感染地域 国内
レジオネラ症	1 人 病型 肺炎型
五類感染症 急性弛緩性麻痺	1 人 病原体 不明
急性脳炎	2 人 病原体 不明 2 人
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 人 血清群 A 群
水痘（入院例）	1 人 病型 検査診断例
梅毒	8 人 病型 早期顕症Ⅰ期 4 人、 早期顕症Ⅱ期 3 人、 無症状病原体保有者 1 人
百日咳	6 人 年齢階級 2 歳 2 人、4 歳 1 人、 6 歳 1 人、7 歳 1 人、8 歳 1 人

＜新型コロナウイルス感染症発生状況＞

新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数(8.87→9.54:図1)は前週と比較して増加した。保健所別では、越谷市(16.92)、草加(15.21)、坂戸(14.30)保健所管内からの報告が多い。

＜定点把握対象疾患の患者情報＞

ヘルパンギーナ(9.47→8.77:図2-1,2,3)の定点当たり報告数は、前週と比較してわずかに減少したが、依然として非常に多い状況である。保健所別では、熊谷(21.75)管内で非常に多く、次いで鴻巣(16.36)、川口市(14.46)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では1～3歳の報告が多く、54%を占めた。RSウイルス感染症(2.73→2.55:図3-1,2)の定点当たり報告数は、前週と同水準で、多い状況が続いている。保健所別では、南部(10.00)、幸手(7.56)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、1歳以下の報告が多く、63%を占めた。手足口病(1.79→1.92:図4)の定点当たり報告数は、前週と比較してわずかに増加した。咽頭結膜熱(0.64→0.64:図5)の定点当たり報告数は、やや高い水準にあり、注意が必要である。

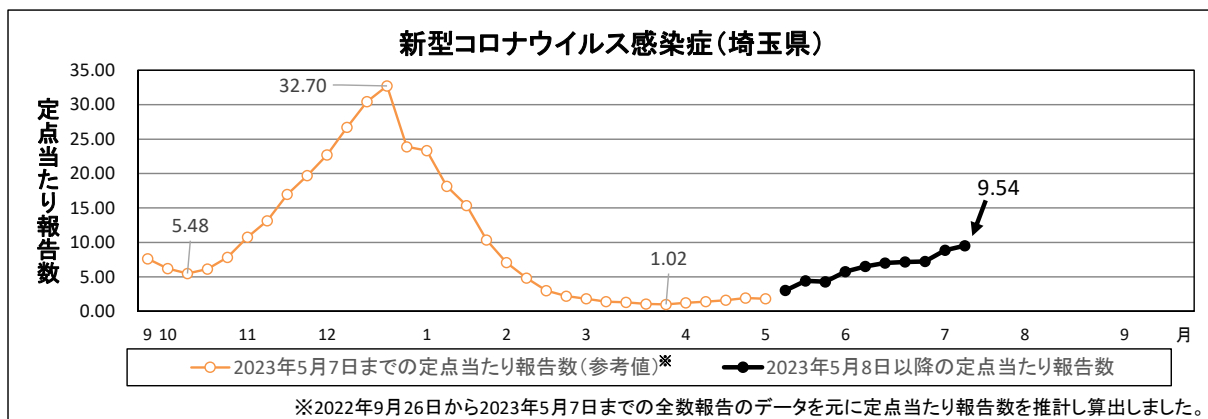
眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 3 人、流行性角結膜炎 10 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、無菌性髄膜炎 1 人の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ

(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第28週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症



注目すべき疾患

ーヘルパンギーナー

第28週の定ポイントあたり報告数は8.77であった。過去10年の流行と比べ非常に高い水準にある(図2-1)。警報レベル開始基準値(6.00)を超えている保健所数は、前週から増加し、12保健所であった(図2-2)。年齢階級別では、例年に比べ、4歳及び5歳の割合が多く、6歳以上の割合も週を追うごとに増加している(図2-3)。

図2-1 ヘルパンギーナの定ポイントあたり報告数の推移

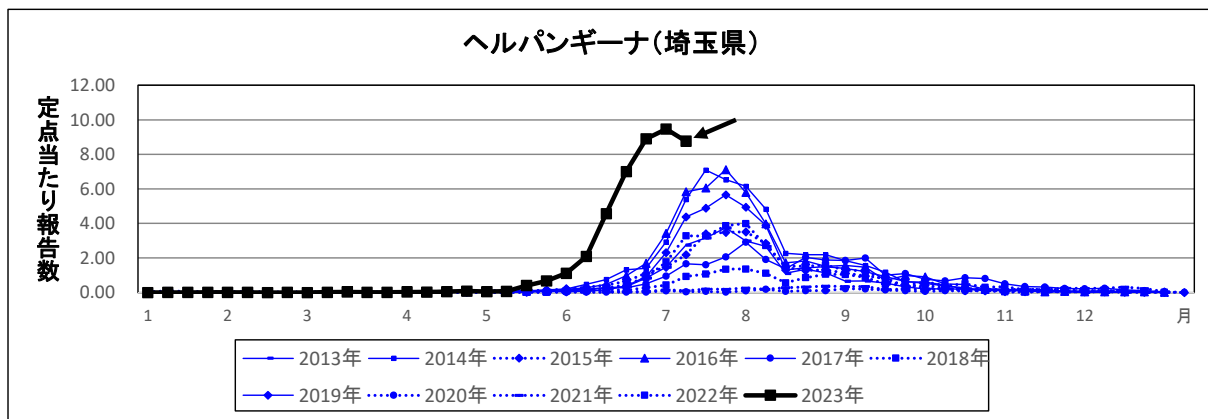


図2-2 ヘルパンギーナの保健所別流行状況の推移(第26週～第28週)

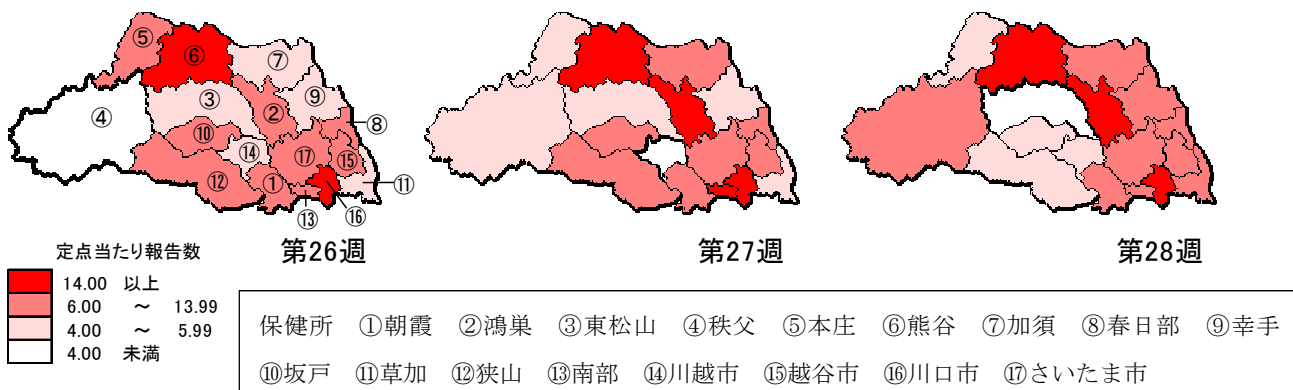
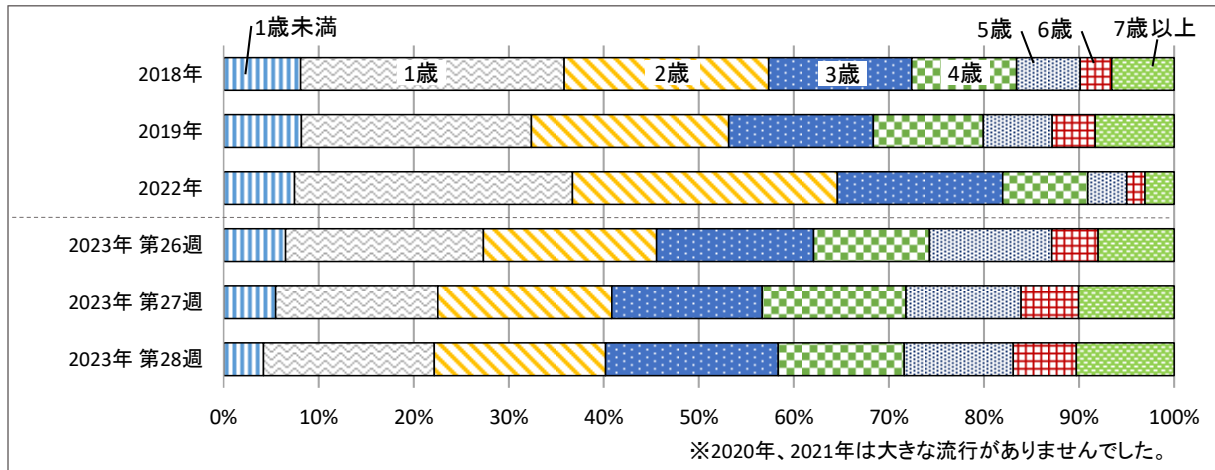


図 2-3 ヘルパンギーナの年齢階級別報告割合の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図 3-1 RS ウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

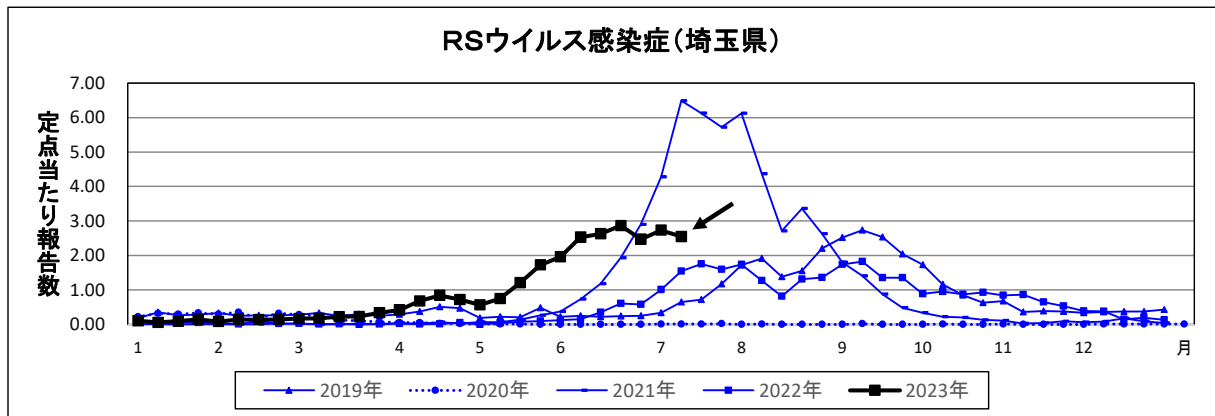


図 3-2 RS ウイルス感染症の保健所別流行状況の推移 (第 26 週～第 28 週)

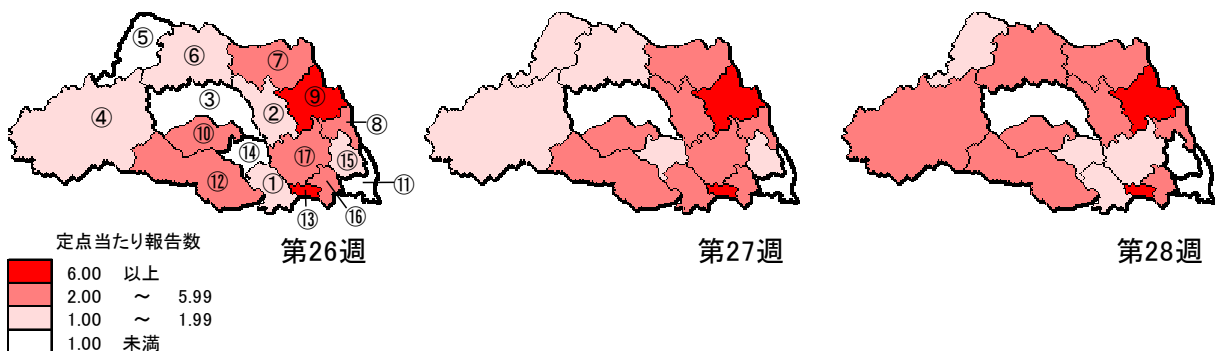


図4 手足口病

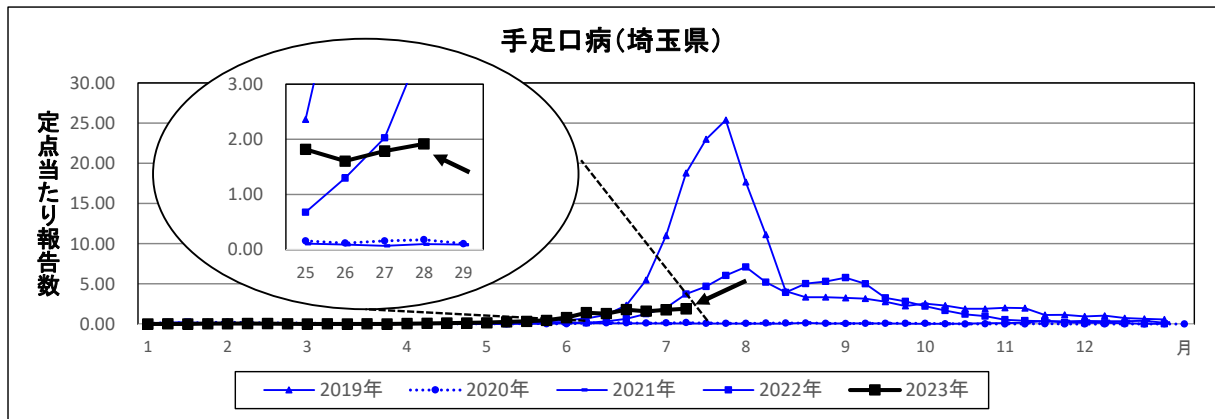
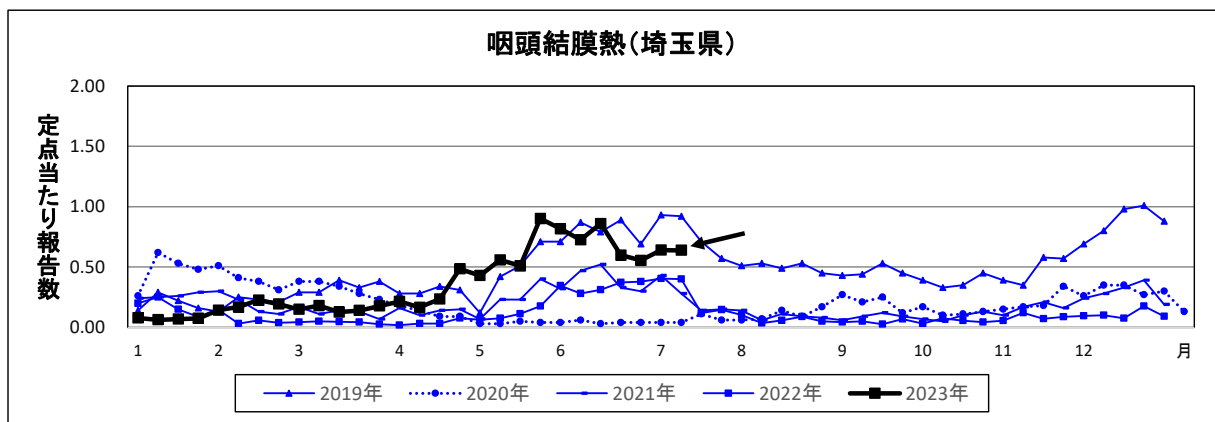


図5 咽頭結膜熱



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第28週)

(2023年7月18日 16:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢		3	パラチフス		1
腸管出血性大腸菌感染症	6	71			
四類感染症					
E型肝炎	1	27	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		3	ニパウイルス感染症		
エキノкокクス症			日本紅斑熱		
エムポックス		4	日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	1	57
つつが虫病		2	レプトスピラ症		
デング熱		3	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		17	侵襲性肺炎球菌感染症		37
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		4	水痘(入院例に限る)	1	8
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		33	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	1	5	梅毒	8	257
急性脳炎	2	21	播種性クリプトコックス症		4
クリプトスポリジウム症			破傷風		3
クロイツフェルト・ヤコブ病		5	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	20	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1
後天性免疫不全症候群		17	百日咳	6	31
ジアルジア症		2	風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症		6	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(2023年6月分)

2023年6月の届出総数は、患者34人、感染症死亡疑い者の死体1人、無症状病原体保有者30人の計65人であった。前月と比べると患者数は同水準で、無症状病原体保有者は増加した。過去1年と比較して、患者数は少なく、無症状病原体保有者数は多かった。推定感染地域は国内39人、国外3人、不明23人であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2022年6月～2023年6月)

	2022年*							2023年						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	累計**
総計	65	68	62	60	64	59	47	73	61	72	63	62	65	396
年齢階級														
10歳未満	2	1	2	2	2	0	1	1	1	1	4	2	4	13
10歳代	1	1	1	2	2	0	1	2	0	1	1	0	1	5
20歳代	7	3	4	0	7	3	3	9	4	6	7	3	7	36
30歳代	8	4	3	4	4	5	3	5	6	7	10	5	1	34
40歳代	8	4	5	4	4	3	1	5	3	10	3	2	5	28
50歳代	5	5	4	6	8	9	9	8	5	7	4	7	6	37
60歳代	8	9	10	6	6	6	3	8	11	6	9	8	7	49
70歳代	9	15	16	12	14	14	12	17	13	14	10	11	11	76
80歳代	15	21	11	18	12	13	12	16	16	14	11	18	17	92
90歳以上	2	5	6	6	5	6	2	2	2	6	4	6	6	26
性														
男	42	37	37	28	41	39	34	46	32	40	45	34	36	233
女	23	31	25	32	23	20	13	27	29	32	18	28	29	163
類型														
患者	46	44	46	45	41	40	34	51	44	47	35	46	34	257
感染症死亡者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
感染症死亡疑い者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
疑似症患者	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
無症状病原体保有者	19	24	16	15	23	19	13	21	16	25	28	16	30	136
病型														
肺結核	31	26	30	31	28	28	29	34	30	31	24	30	26	175
肺結核及びその他の結核	3	3	6	6	6	3	0	7	6	3	3	5	5	29
その他の結核	12	15	10	8	7	9	5	10	9	13	8	11	4	55
疑似症患者	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
無症状病原体保有者	19	24	16	15	23	19	13	21	16	25	28	16	30	136
推定感染地域														
国内	27	37	36	40	35	39	22	42	43	46	44	38	39	252
国外	8	3	2	2	2	2	5	8	4	3	3	3	3	24
不明	30	28	24	18	27	18	20	23	14	23	16	21	23	120

*:2022年の届出数は暫定値

**:2023年1月からの累積届出数

6月に診断された65人を病型別にみると、肺結核は20歳代以上の年齢階級から計26人の報告があり、60歳代以上が16人で61%を占めた。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2023年6月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
総計	26	5	4	0	30	65
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	4	4
10歳代	0	0	0	0	1	1
20歳代	3	0	0	0	4	7
30歳代	1	0	0	0	0	1
40歳代	3	0	0	0	2	5
50歳代	3	1	0	0	2	6
60歳代	1	0	0	0	6	7
70歳代	5	0	1	0	5	11
80歳代	7	3	3	0	4	17
90歳以上	3	1	0	0	2	6

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2023年第28週

7月10日~7月16日)

保 健 所	報告数 定点当たり	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)
		#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1
全 県	報告数 278	2,386	395	99	298	922	22	297	-	39	1,359	24	3	10	-	1	-	-	-	-	-
	1.11	9.54	2.55	0.64	1.92	5.95	0.14	1.92	-	0.25	8.77	0.15	0.08	0.25	-	0.09	-	-	-	-	-
朝 霞	報告数 46	155	13	4	20	79	2	11	-	1	84	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
	2.42	8.16	1.08	0.33	1.67	6.58	0.17	0.92	-	0.08	7.00	-	0.33	0.67	-	-	-	-	-	-	-
鴻 巣	報告数 11	200	36	5	18	70	-	13	-	4	180	3	-	1	*	*	*	*	*	*	
	0.61	11.11	3.27	0.45	1.64	6.36	-	1.18	-	0.36	16.36	0.27	-	0.33	*	*	*	*	*	*	
東 松 山	報告数 1	55	3	7	3	27	-	14	-	-	6	4	-	-	-	-	-	-	-	-	
	0.13	6.88	0.60	1.40	0.60	5.40	-	2.80	-	-	1.20	0.80	-	-	-	-	-	-	-	-	
秩 父	報告数 -	32	10	2	1	-	-	-	-	-	20	-	*	*	-	-	-	-	-	-	
	-	6.40	3.33	0.67	0.33	-	-	-	-	-	6.67	-	*	*	-	-	-	-	-	-	
本 庄	報告数 2	26	5	-	-	3	-	1	-	-	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	0.29	3.71	1.25	-	-	0.75	-	0.25	-	-	5.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊 谷	報告数 -	86	21	8	6	43	1	10	-	4	174	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
	-	6.62	2.63	1.00	0.75	5.38	0.13	1.25	-	0.50	21.75	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	
加 須	報告数 4	66	29	3	5	2	-	4	-	1	39	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	0.40	6.60	4.83	0.50	0.83	0.33	-	0.67	-	0.17	6.50	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	
春 日 部	報告数 8	121	13	1	43	104	1	39	-	4	64	-	-	-	*	*	*	*	*	*	
	0.80	12.10	2.17	0.17	7.17	17.33	0.17	6.50	-	0.67	10.67	-	-	-	*	*	*	*	*	*	
幸 手	報告数 75	191	68	12	30	8	1	23	-	-	72	1	-	-	*	*	*	*	*	*	
	5.36	13.64	7.56	1.33	3.33	0.89	0.11	2.56	-	-	8.00	0.11	-	-	*	*	*	*	*	*	
坂 戸	報告数 5	143	18	1	1	49	-	12	-	-	35	3	-	-	-	-	-	-	-	-	
	0.50	14.30	3.00	0.17	0.17	8.17	-	2.00	-	-	5.83	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	
草 加	報告数 33	289	7	9	9	80	1	38	-	3	76	3	-	-	*	*	*	*	*	*	
	1.74	15.21	0.58	0.75	0.75	6.67	0.08	3.17	-	0.25	6.33	0.25	-	-	*	*	*	*	*	*	
狭 山	報告数 56	315	57	19	50	67	2	51	-	3	81	5	2	3	-	-	-	-	-	-	
	2.24	12.60	3.56	1.19	3.13	4.19	0.13	3.19	-	0.19	5.06	0.31	0.40	0.60	-	-	-	-	-	-	
南 部	報告数 3	86	40	3	8	37	3	6	-	2	51	1	-	-	*	*	*	*	*	*	
	0.43	12.29	10.00	0.75	2.00	9.25	0.75	1.50	-	0.50	12.75	0.25	-	-	*	*	*	*	*	*	
川 越 市	報告数 4	60	8	-	16	40	5	4	-	2	29	2	-	1	*	*	*	*	*	*	
	0.31	4.62	1.14	-	2.29	5.71	0.71	0.57	-	0.29	4.14	0.29	-	0.50	*	*	*	*	*	*	
越 谷 市	報告数 5	203	3	12	5	62	1	7	-	4	61	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	0.42	16.92	0.43	1.71	0.71	8.86	0.14	1.00	-	0.57	8.71	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
川 口 市	報告数 14	154	28	5	45	91	-	28	-	4	188	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	0.70	7.70	2.15	0.38	3.46	7.00	-	2.15	-	0.31	14.46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
さいたま市	報告数 11	204	36	8	38	160	5	36	-	7	177	2	-	-	-	-	1	-	-	-	
	0.28	5.10	1.38	0.31	1.46	6.15	0.19	1.38	-	0.27	6.81	0.08	-	-	-	-	1.00	-	-	-	

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

7月 18日

17:30 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2023年第28週

7月10日~7月16日)

	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ #1	278	-	5	11	13	8	13	30	24	17	21	29	48	10	11	16	13	5	3	1	-
新型コロナウイルス感染症	2,386	22	25	46	20	29	24	28	25	35	35	43	249	206	340	237	318	313	186	145	60
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~						
RSウイルス感染症	395	54	77	120	64	38	19	13	3	4	1	-	-	-	2						
咽頭結膜熱	99	1	-	27	22	16	11	14	3	1	2	-	1	-	1						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	298	-	3	9	16	32	40	38	34	44	25	16	32	3	6						
感染性胃腸炎	922	3	50	118	109	95	111	101	70	63	48	36	77	10	31						
水痘	22	-	1	2	1	3	1	1	1	1	4	2	5	-	-						
手足口病	297	-	15	69	49	50	42	34	12	8	5	3	6	3	1						
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん	39	-	13	18	5	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	1,359	6	51	244	245	247	180	156	90	53	23	17	25	5	17						
流行性耳下腺炎	24	-	-	1	3	1	3	4	1	2	5	1	3	-	-						
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~	
急性出血性結膜炎	3	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
流行性角結膜炎	10	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	3	-	-	-
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ(入院)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ 表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第26週 (6月26日～7月2日)

令和5年7月19日

<全国情報>

インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患: インフルエンザの定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鹿児島県(20.07)、宮崎県(7.34)、長崎県(5.26)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は60例と前週と比較して減少し、21都道府県から報告があった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第20週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(48.39)、鹿児島県(13.48)、千葉県(9.89)である。

小児科定点報告疾患(主なもの): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は横ばいであったが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は山口県(7.70)、大分県(7.47)、島根県(6.74)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は福岡県(1.28)、北海道(0.95)、富山県(0.93)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は福岡県(4.27)、鳥取県(3.11)、奈良県(2.44)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第23週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は大分県(8.03)、熊本県(7.88)、埼玉県(6.96)である。手足口病の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は島根県(3.78)、茨城県(3.20)、福岡県(2.03)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は茨城県(0.15)、福島県(0.10)、新潟県(0.09)、鹿児島県(0.09)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第19週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は宮城県(15.85)、三重県(12.38)、鹿児島県(11.00)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は香川県(0.50)、愛媛県(0.16)、埼玉県(0.14)、大分県(0.14)である。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は青森県(0.67)、大分県(0.36)、山口県(0.22)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告は減少し、今週の報告はなかった。

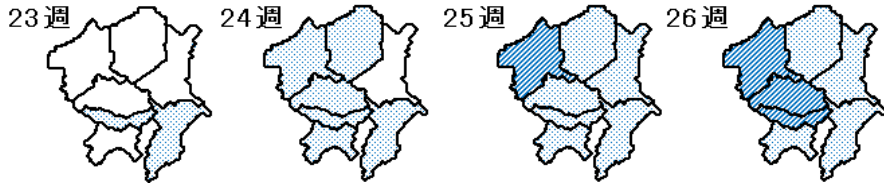
Infectious Diseases Weekly Report Japan 2023年 第26週(6月26日～7月2日): 通巻第25巻 第26号 より

<関東情報>

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は、群馬県(10.06)、埼玉県(8.90)、東京都(8.22)からの報告が多い。

ヘルパンギーナ

- 8.00 以上
- 3.50 ～ 8.00
- 3.50 未満



2023年 26週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	6,238	1,168	98	22	22	228	159	382	257
	定点当たり	1.26	0.76	0.82	0.29	0.25	0.87	0.78	0.92	0.69
新型コロナウイルス感染症	報告数	35,737	10,791	902	413	387	1,891	2,018	2,841	2,339
	定点当たり	7.24	7.03	7.52	5.43	4.45	7.25	9.89	6.85	6.30
RSウイルス感染症	報告数	9,981	2,342	121	164	99	405	324	686	543
	定点当たり	3.17	2.43	1.61	3.42	1.83	2.47	2.55	2.64	2.29
咽頭結膜熱	報告数	1,783	483	59	10	40	91	87	107	89
	定点当たり	0.57	0.50	0.79	0.21	0.74	0.55	0.69	0.41	0.38
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	5,032	1,534	122	85	70	323	195	458	281
	定点当たり	1.60	1.59	1.63	1.77	1.30	1.97	1.54	1.76	1.19
感染性胃腸炎	報告数	14,608	5,066	339	85	331	1,142	771	1,262	1,136
	定点当たり	4.65	5.25	4.52	1.77	6.13	6.96	6.07	4.85	4.79
水痘	報告数	325	121	11	4	6	28	10	27	35
	定点当たり	0.10	0.13	0.15	0.08	0.11	0.17	0.08	0.10	0.15
手足口病	報告数	2,878	1,007	240	58	28	263	117	145	156
	定点当たり	0.92	1.04	3.20	1.21	0.52	1.60	0.92	0.56	0.66
伝染性紅斑	報告数	82	39	11	4	-	3	3	8	10
	定点当たり	0.03	0.04	0.15	0.08	-	0.02	0.02	0.03	0.04
突発性発しん	報告数	936	262	16	20	17	41	35	67	66
	定点当たり	0.30	0.27	0.21	0.42	0.31	0.25	0.28	0.26	0.28
ヘルパンギーナ	報告数	20,360	7,269	301	337	543	1,460	969	2,136	1,523
	定点当たり	6.48	7.53	4.01	7.02	10.06	8.90	7.63	8.22	6.43
流行性耳下腺炎	報告数	202	75	7	2	2	23	7	10	24
	定点当たり	0.06	0.08	0.09	0.04	0.04	0.14	0.06	0.04	0.10
急性出血性結膜炎	報告数	7	4	1	-	-	1	-	-	2
	定点当たり	0.01	0.02	0.06	-	-	0.02	-	-	0.04
流行性角結膜炎	報告数	266	107	18	1	5	12	10	17	44
	定点当たり	0.38	0.51	1.06	0.08	0.36	0.29	0.29	0.45	0.85
細菌性髄膜炎 #2	報告数	4	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	14	2	-	-	-	-	-	-	2
	定点当たり	0.03	0.02	-	-	-	-	-	-	0.17
マイコプラズマ肺炎	報告数	23	5	2	-	-	1	-	-	2
	定点当たり	0.05	0.06	0.15	-	-	0.09	-	-	0.17
クラミジア肺炎 #3	報告数	5	1	-	-	1	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	0.11	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(--0.00)

感染症発生動向調査
2023年

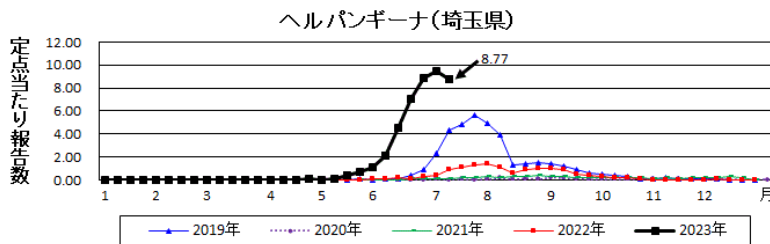
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第15週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第16週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第17週](#)
- ▶ [感染症発生動向調査 2022年](#)
- ▶ [感染症発生動向調査 2021年](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第18週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第19週](#)

感染症の流行状況 2023年 第28週

2023年第28週（7月10日～7月16日）の要点 令和5年7月19日

[ヘルパンギーナ](#)の定点当たり報告数は、前週と比較してわずかに減少しましたが、依然として非常に多い状況です。

外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	手足口病	↑	★★
新型コロナウイルス感染症	↑	—	伝染性紅斑（りんご病）	→	★
RSウイルス感染症	→	★★★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱（プール熱）	→	★★	ヘルパンギーナ	↓	★★★★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
感染性胃腸炎	→	★★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘（みずぼうそう）	→	★	流行性角結膜炎	→	★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい→★、★★、★★★→大きい）

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

